

安心して暮らせる町づくりに48億円



生活習慣病予防検診を受診して健康な毎日を (元木生活改善センター)

● 一般会計予算概要

項目		予算額	構成比	項目		予算額	構成比
収	自主財源			支	人件費	8億9,923万円	18.7%
	町税	4億7,254万円	9.8%		扶助費	3億7,787万円	7.9%
	分担金等	7,447万円	1.6%		公債費	8億7,147万円	16.8%
入	その他	1億5,791万円	3.3%	建設事業費	5億2,334万円	10.9%	
	地方交付税	30億1,000万円	62.6%	物件費	7億4,030万円	15.4%	
	依存財源			負担金等	14億6,647万円	29.3%	
	国・県支出金	6億2,383万円	13.0%	積立金	5,024万円	1.0%	
	町債	3億5,330万円	7.4%				
合計	48億4,766万円	100.0%	合計	48億4,766万円	100.0%		

(1万円未満は四捨五入)

一般会計の支出を町民一人当たりになると (家計に例えると)

(積立金)

貯金 **6,606円**

(人件費)

食費・光熱水費 **123,538円**

660,630円

平成24年3月末の人口 **7,273人**

税金・年金・保険料等

193,564円

医療費・学費

52,190円

小遣い・交際費

101,737円

衣類・家財・車等

72,009円

住宅ローン等

110,986円

● 特別会計予算概要

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	10億5,880万円	△4.9%
簡易水道事業	1億6,736万円	△0.8%
農業集落排水事業	1億8,560万円	△7.0%
後期高齢者医療事業	6,668万円	0.3%
国民健康保険病院事業	9億2,141万円	△0.2%
合計	23億9,985万円	△2.7%

5つの特別会計の予算総額は、23億9,985万円です。各会計の予算額は、次表のとおりです。簡易水道事業会計においては、今年度から、江州地区の簡易水道の統合整備に向けた事業に着手します。

なお、いずれの会計も、自主財源の確保に努め、健全な財政運営が求められています。



一般会計予算は、48億4,766万円、前年に比べて約7,463万円、1.6%増加した予算となっています。

今年度の主な事業は、次のとおりです。

- ▽バス路線運行拡大支援対策費 4,500万円
- ▽携帯電話不感地域解消事業 3,000万円
- ▽公共施設再生可能エネルギー導入事業 9,900万円
- ▽乳牛導入120周年記念事業 3,000万円
- ▽中心市街地街路灯LED化事業 5,677万円

▽町道改良事業(小屋瀬塚森線、宝積寺線ほか3路線) 9,924万円

また、町の借金(町債)は、23年度末見込みで63億1,728万円、前年度に比べ3,602万円、0.6%減少しており、町民一人当たり換算すると約87万円になります。

一方、貯金(一般会計基金)の23年度末見込み額は27億2,706万円、前年度に比べ6億1,322万円、約28.2%増加し、町民一人当たり約37万円となります。

改選後はじめての定例会「3月定例会」は7日から16日までの10日間の日程で開かれました。

初日に、鈴木重男町長の施政方針演説が行なわれ、新年度予算の概要と、生活・医療・子育て支援・再生可能エネルギーの導入など、「安心して暮らせる町づくり」に向けた所信を述べました。続いて、千葉洋一教育委員長が教育行政方針演説で「葛巻の将来を担う人づくり」を推進すると述べました。

本定例会には、平成24年度一般会計ほか5特別会計予算など17議案が提案され、輝くふるさと常任委員会の審議を経て、全議案が原案どおり可決されました。

一般会計



3月12日

江刈・田部バス増便

総務
企画

問 バス路線運行拡大支援対策の内容は。

答 田部・江刈方面のバス運行を平日の昼と午後、2往復ずつ増便するものです。

LED化の費用効果

総務
企画

問 中心市街地街路灯のLED化に伴う費用対効果は。

答 街路灯90基の電気料は月額約8万3000円で、切替後は約2万8000円と3分の1程度に軽減されると思われま

携帯電話の不感地域

総務
企画

問 今回の事業により、町内全域がクリアできるか。

答 電波の問題もあり、必ずしも不感地域がゼロにはならないかもしれませんが、全域の解消

エコ・エネ総合対策

農林
環境

問 事業の具体的な中身は。

答 これまでの新エネ補助金に、事業所等から出る廃棄物を活用したボイラーの導入など企業との連携や、エコ活動への助成を加えた総合的な補助制度を創設したものです。

乳牛導入120周年

農林
環境

問 記念事業の内容は。

答 国道沿いや町の入り口などに、酪農の町をアピールする看板を設置したいと考えています。ほかに、県畜産共進会ホルスタイン種の部や町畜産共進会、記念シンポジウムなどを開催する予定です。

生ごみ分別収集処理

農林
環境

問 バイオガスシステム改修工事と生ごみ収集との関連等は。

答 今回の工事は生ごみの焼却処理を減らすため、施設へ投入

する際の裁断機改修や金属などを取り除く機械の整備を行うものです。

公共施設のエネ導入

農林
環境

問 今後の新エネルギー整備対象施設は。

答 24年度は葛巻中・小屋瀬中、五日市小を予定。27年度までには小・中学校、社会体育館、グリーンテージなどへ15キロワット程度の太陽光発電、蓄電池等の施設を設置する予定です。

草地畜産基盤の整備

農林
環境

問 事業内容と放射能の除染作業などの関連は。

答 参加農家は26戸で、全体事業量は草地改良57・8畝、造成13・1畝の計画です。24年度は草地改良10・85畝、造成3畝を予定しています。

医療費助成範囲拡大

住民
会計

問 助成対象が中学生まで拡大されるが、予算額が前年度より300万円少ない理由は。

答 小学生への拡大は昨年8月から行われ、医療給付費は2カ月遅れの請求で、給付実績は5カ月間しか確定していませんが、小学生1人当たり月額約1000円となっております。この実績に基づき、今年8月から始まる中学生は約倍額で6カ月分、小学生は1年分で計算し、減額となったものです。



太陽光発電施設を整備した江刈農村センター

特別会計



3月13日

運営健全化へ努力を

国保
事業

問 運営状況は。

答 22年度決算は296万円の赤字で、要因は被保険者の減少、低所得化、高齢化などの構造的な問題が考えられます。さらに本町では、22年10月に被保険者数が3000人を切っ

問 一般会計からの繰出基準を含めた基本的な姿勢は。

答 国県で50%、保険税で50%を賄うことが原則ですが、現状では増税できないことから、基準外という形の中で検討する考えです。

江刈簡易水道を整備

簡易
水道

問 江刈簡易水道の事業計画は。

答 24年度に概略設計、25年度に詳細設計を行い、26年度の工事着手の見通しで、事業期間は7年間の予定です。

水洗化率の目標値は

農林
集排

問 現在の使用率は平均72%位と思うが、水洗化率の目標と対策は。

答 85%から90%の加入率であれば、現在の利用料金で賄えると思われま

病院新築へ町民公募

病院
事業

問 病院の新築に関連し、ハード面の整備より、運営が大事だと思うが対応は。

答 病院内部の検討委員会の立ち上げと併せ、一般公募も含めて広く町民の皆さんからも意見を聴くなど、高齢化率が増加する傾向の中、町民の医療ニーズに対応する考えです。

賛成討論 (要約)

小谷地 喜代治 議員

一般会計ほか5特別会計の24年度予算案は「安心して暮らせる町づくり」を主眼に編成され、次に掲げられるように、町民の不安解消に向けた各分野における事業が盛り込まれていることから、各会計予算案に賛成する。

【安心なまち】◇地域の防災拠点となる公共施設への太陽光発電施設を設置◇携帯電話の不感地域を解消

【人口減少対策】◇若者の定住を促進するため、定住促進住宅を整備

【子育て支援】◇医療費助成事業の対象を中学校卒業まで拡大

【産業の振興】◇草地畜産基盤整備、優良後継牛確保対策、黒毛和種繁殖雌牛改良対策などの各種事業の導入による、良質な粗飼料生産と足腰の強い畜産経営を確立◇街路灯のLED化をはじめとする「まちなか再整備」の具体化

【教育】◇特別支援教育支援員を増員

【生活環境】◇生ごみの分別化の推進と再資源化◇従来の「新エネルギー導入助成事業」に、企業連携分とエコ活動助成を追加し「エコ・エネ総合対策事業」として事業実施◇葛巻病院改築、江刈簡易水道整備の推進

【東日本大震災被災者支援】◇被災者住宅再建支援事業補助金、被災地域支援団体活動費補助金を創設

【新課の設置】◇特定施設の円滑な推進のため「政策秘書課」を設置

厳しい財政状況の中で、24年度に実施される事業は、住民の不安を解消し、本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」につながるものと期待している。

一方、特別会計は、各会計とも目的、趣旨に沿った予算が編成されているが、経営には最善の注意を払い、健全な経営に向けた努力が望まれる。

反対討論 なし

